



### おかげさま

秋、三重県鳥羽市で会議があった。翌土曜は、東京に戻り研究会出席か、折角の機会なので伊勢参りにするかと、天気予報をみれば生憎の雨模様である。

会議後の懇親会で、好天ならば伊勢参りで外宮から内宮まで歩くと話したら、驚かれ、おかげ横丁の伊勢うどんと言われた。

朝には夜雨も上がり、予報も午後若干の雨に変わったため、勉強はいつでもできるが、お伊勢さんは今でしょと参ることにした。

鳥羽駅から近鉄線で伊勢市駅へ向う。一駅前の宇治山田駅からも外宮は歩けるとあったが、やはり「伊勢」が入った駅だろうと伊勢市駅で降りたら何と雨である。しかし、此处まで来たとの思いで、駅前の大鳥居に向い念ずると直ぐ、お蔭様で、傘は不要となった。

駅前大鳥居から通り伝いに数分歩くと外宮入り口で、運よく、手前で地元ボランティアの方々がお参り札を配っていたので10分ほど並んでいただいた。皆さん直ぐに首に掛けたりしたが、私はスーツに仕舞い込んだ。会議帰りなので、服・靴・鞆ともに通勤スタイルである。一人でスーツ姿、ましてや通勤バッグを背負うという珍客である。参拝順を考えるまでもなく、流れに従って進むと、パワースポットが…、遷宮の時に…、外宮と内宮の違いは…、私的祈願は別宮で…と周りから色々な情報が入って結構参考になった。これまたお蔭様である。

外宮から内宮までは予定どおりの徒歩である。直ぐに汗ばみ上着を脱ぎYシャツ姿で小一時間。歩いたお蔭で、猿田彦神社にもお参りすることができた。七五三の家族連れが微笑ましく結構でした。内宮に向かうと、おかげ横丁があり、数多い伊勢うどん店は450円の横並びである。また、あの赤福も賑わっていた。

参拝後は、内宮前のバス停横にあった「伊勢うどん限定割引300円」の看板が飛び込んできたので、即伊勢うどん。なるほどの初体験！皆さんも是非。帰りは流石に、内宮から最寄駅まで歩く気になれず、バスで伊勢市駅に向かった。

お参りして気付いたことを少し書くと、鳥居柱に榊が飾られていたこと、外宮は左側通行で内宮は右側通行、外宮と内宮で開運御守の形が異なること、お守りの裏は伊勢神宮ではなく外宮、内宮と縫われていること、遷宮は別宮も移すこと、などである。また丁度、永六輔著「職人」で伊勢神宮の遷宮と宮大工等々の技術伝承を読んだばかりであったので、改めて我が国の文化伝承の細やかさを実感できたのもよかった。

やはり日本は「お蔭様」の国だなあと改めて感じ入った。一生に一度は…の伊勢参りをし、孫たちにお守りなどを頂戴し、いつか来るお迎えも静かに待てる気になった。

何ごともお蔭様で……感謝。

麻賀倫太郎